

音樂と家庭

東京音樂學校教授 天谷 秀

近頃音樂が仲々盛になつて來まして、學校にも家庭にも流行して來りました。こうなつて來ると益々音樂を正則に習ふ必要がありませう。音樂は美的なものでありませうから、不規律不正則にやつては少しも美的觀念が起りませう。今迄は随分無秩序なやり方をしてゐましたが、これからは正しくないと駄目です。さうして音樂は家庭に効のあるものですから、主婦となるには多少心得ておかねばなりません。一家の憂ひでも音樂の爲めに喜びと化し、夫を慰安し、小供を樂しめますなどに音樂の力は大きなものであります。吾輩の考へでは日本音樂は止めて、西洋音樂のみ使用したいと思ひます。學校で西洋音樂を教へても、下等社會には日本音樂の卑しいものを授けますから、學校と家庭とが一致いたしません。これは音樂普及上よく

ないこととあります。又幼稚園の保母は専門的の智識に要せないとしても、相當の思想を有して、唱歌、樂器、遊戲等は研究せねばならぬのは勿論、進行曲位は完全に引くやうにならねばなりません。どうも保母には樂器のよく引ける者が少ないかと思はれます。

音樂は研究するは必要であります、常に音樂會などへ行つて高尚な音樂を聞くのが必要です。音樂會に保母や主婦がドシ〜聞きに行かなくては駄目です。初めは少し位解らんでも、時々耳にする追々解るやうになつて來ます。そうして音樂思想が出來たら、兒童へ教へるのにごく都合がよい。元來兒童は記憶力がよくて感化に富んでゐますから、少し注意すればすぐ覺へます。併し兒童に教へる音樂はその曲を選択せねばなりません。歌詞が平易で曲の面白いものでないと、勞して効果が少ないのですから、注意を重ねなければなりません。

音楽は感情を和はらげると最もよいものでありまして、これが爲め、吾輩の知つてゐる人で、如何に一家の調和を整へたかは、音楽を解せぬ人の想像以外です。音楽の専門家にならなくてもよいですから、これからの婦人には多少教へる必要がありませぬ。氣の荒い婦人でも、音楽を學んだ爲め温順になつた例もありません。君も妻君を向へる時は、音楽をやつた人を選ぶがよいです。ハ、ッではありません。一家經營上に大關係することですよ。この問題は急いでは失敗します、望月代議士のやうにゆつくりと考へねばなりません。(龍東)

▲紐育の摩天閣 紐育市は土地狭隘なるが爲め争つて高層の家屋を建築し居ることは世人の熟知する所なるが目下同地に於て建築中なる高層家屋は十一戸ありて其層數は總て四百一層となり孰れも三十五層以上なりと而して其建築費は六千万圓にしてシムアロン、トンネルの開發費より多き事一倍なりと云ふ

入浴上の衛生

新免 義雄

人身の皮膚は呼吸を營みまして、不潔物を排泄致します。そして体温の調節を主とする所でありませぬ。故に此皮膚は衛生即ち清潔法は大に重じなければならぬものであります。否らざれば全身の汗線から出て來る所の分泌液、鹽分、表皮脂酸、塵埃などから成り立つて居る所の汗は空氣中にある細菌の爲め忽ち分解せられて汚臭を放つものでありますから常に注意して之を除き去らねばなりません。之を除き去る方法は即ち御存じの入浴で御座います。尤も入浴には種々ありまして、河水、海水への入浴から始めて冷水浴、温湯浴、蒸氣浴、鍍泉浴などは普通に行はれて居るものであります。同じ温浴にも泳温浴、灌水浴、全身浴などあります。吾々が日々行つて居る所の沐浴は此全身浴の事であります。湯屋即ち公衆浴場は最も簡便な方法な